相馬村広報

りんご往来

2023 10

特集１　令和４年度決算を振り返る

第59回総会

特集２　おさらいしよう！

よく分かる苗木の植えかた

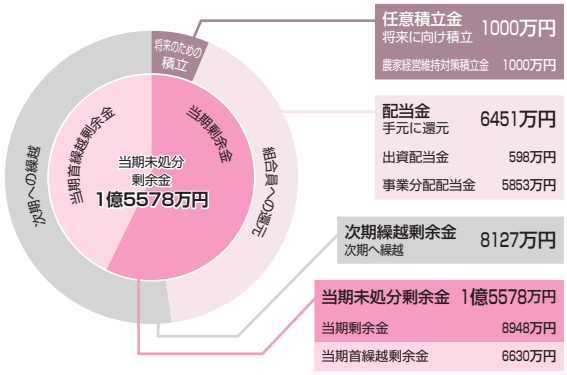
表紙の写真：５年ぶりの集団登拝　相馬有志会

正組合員483名　出席数377名（本人117名　代理人54名　書面206名）　准組合員出席８名

令和４年度決算を振り返る

9月26日の第59回通常総会にて令和４年度事業報告と今年度の計画を含む全４議案が承認された。総会資料「協同のあゆみ」より抜粋して概要をご報告したい。

剰余金の行方



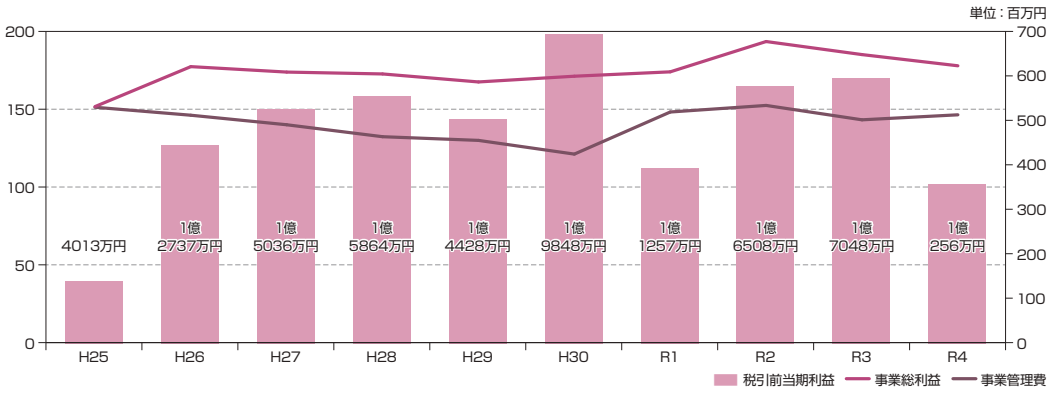
令和４年度実績　（　）内は前年比

リンゴ入庫数量	736,989箱（112%）
コメ出荷数量	5,346俵（ 98%）
販 売 総 額	45億9千万円（102%）

安定性の指標

単体自己資本比率	23.91%

過去10年の経営成績推移



組合員が見守る中、冒頭、大場勉組合長は令和４年産リンゴの状況や、今期から変更のあった冷蔵庫保管料における電気料金の取扱、また肥料・資材の高騰による補助事業にも触れた。また、米の初検査では１等米に格付けされたが、今夏の高温の影響から、今後、２等米がでることが懸念されると言及した。組合員の生活を守るために、差額を補填するなどの助成ができないかなど、理事会で考えていく方針だ。「安全に気を付けながらリンゴの作業を頑張っていただいて、令和５年産も目いっぱいの入庫をお願いします」と挨拶の最後を締めくくった。

令和５年度基本方針
「新たな時代への挑戦」

・労働力の確保・飛馬りんごブランドの維持発展、スマートフレッシュ、新選果システム利用による農家所得向上・２支所のコミュニティ店舗対応・ＪＡ共済の総合保障で信頼と期待に応える・職員への教育研修、内部管理体制維持

これらを基本施策として、役職員一同、令和５年度も組合員の生活と産地維持に邁進して参ります！

“不断の自己改革”を実践！
『経営・振興三ヶ年計画』２年目、苗木助成対象品種を拡大！

苗木助成　1本あたり500円（上限500本／１組合員年間）

対象品種…ひらかつがる、うまじろう、宮美ふじ、紅虎、コスモふじ、平成美人

NEW 華宝、シナノスイート、ジョナゴールド

※ただし、当ＪＡのリンゴ出荷組合員であり、購買課経由で購入したものに限ります。
※令和５年秋苗木から対象とします。

おさらいしよう！ よく分かる 苗木の植えかた

今回の苗木助成品種拡大を受けて、植えかたについて特集します。このページを切取って、保存版としてご活用ください。

準備物

よく掘れるスコップ
もしくはユンボ

支柱
（苗木１本つき１本）

苗木
（必要数）

テープなど
苗木を支柱に固定するもの

バケツ
土壌改良資材を混ぜ合わせるもの

カップ
土壌改良資材を計るもの

消毒剤（どれか１つ）	倍数	白紋羽病	紫紋羽病	浸漬
フロンサイドＳＣ	500倍	○	○	約20分
ベンレート水和剤	1,000倍	○	×	約10分
トップジンM水和剤	500倍	○	×	約10分

土壌改良資材

堆肥	10kg
熔リン	1kg
苦土炭カル	500g

春植えの場合

- 大量の水
- 大き目の樽（苗木を２日間浸す用）
- ワラやビニールマルチなど、乾燥防止資材。
- 潅水に必要なもの

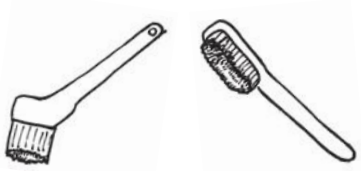
株式会社原田種苗
販売課長　工藤 隆樹 氏

春植えはとにかく乾燥を防ぐことが大切。苗木を保護しながらしっかり“樹”に育てられるように、植え方と管理について教えていただきました。

秋植えの場合

- ワラや大判のクラフト紙、もしくはホワイトンパウダー※（凍霜害から苗木を保護するための資材）
- 殺鼠剤や防鼠材（苗木ガードなど）

※ホワイトンパウダー、ホワイトンペーストを準備する場合は、下記も準備しましょう。



ハケや洗車ブラシ

バケツと水

キリトリ

植えかたの手順

※春植えの場合に必要な手順について春と表記しています。

春　定植２日前から大き目の樽などで根を浸水しておく。乾燥防止のため。

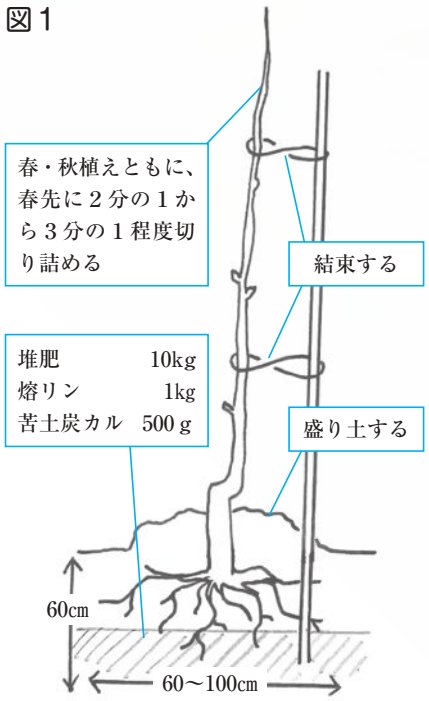
1．**消毒**　苗木を消毒液に、規定の時間浸す。

2．**土壌**　植穴を掘り、土壌改良資材として堆肥10kg・熔リン１kg・苦土炭カル500ｇの割合で土とよく混和して、埋め戻す。図１参考。初めに耕運して土を細かくしておくと、根が張りやすくてgood！

春　穴に水をたっぷり入れる。泥植えにしても良い。

3．**植付け**　接木部分に接木テープが残っていたら取り除く。初めに、根を３分の１程度切り詰め、放射状に広げて定植する。根が短い場合でも、先だけ少し切ることで、伸びが良くなる。

図１



4．**深さ**　丸葉台、ハイブリット苗は下の接木部分を地上に出す。わい性台木は台木部分の半分が出るように植える。盛り土をして乾燥防止にたい肥を被せても◎深植えになると根腐れして死んでしまいます。排水が良くない園地は特に注意！

5．**鎮圧**　定植後は根元を踏んで鎮圧すると早く生育する。

6．**支柱**　支柱を立ててヒモなどで固定する。根付きやすくなると同時に、太陽に向かって真っすぐに伸びるようになる。

越冬について　接木部分が特に凍害が起こりやすい。凍霜害、ネズミ対策のため苗木の接木部分を中心に、ホワイトンパウダーを積雪深まで塗る、苗木ガードを巻く、米袋のような大判のクラフト紙や厚紙を巻くなど対策を。ホワイトンパウダーを塗布すると、無処理と比較して約10℃程度の違いがあるので凍害防止効果が高い。M9自根やM9T337系の場合は、樹が大きくなるまで継続した方が良い。

その他

●春植えで降雨のない時は、水を朝晩やる。勢いよくやると流れてしまうので、しっかり根元の土に染み込むように少量ずつ。乾燥防止のためワラやビニールマルチをすると生育もよくなる。

●お盆前までに葉面散布など肥料を入れ、その後はとめる。すると９月中には芯や新梢の伸長がとまり、今度は樹が太くなる。また、あまり上に伸びて越冬すると、春に先端だけ芽が出なくなることや、樹全体が死んでしまう場合もあるため、お盆前までで肥料をとめることが大事。

●伸びは悪かったとしても、１年目にしっかり根付かせれば、２年目によく伸びる。凍霜害対策は２年目も継続して実施する。黄色品種や高密植苗木は特に寒さに弱いため、対策は必須！

参考：原田種苗2023カタログ、りんご協会『りんごニュース』第3276号

苗木の保管方法

秋苗木を購入し春植えにする場合など、すぐに植付けできない苗木については仮植えや冷暗所で保管しておくと良い。

冷暗所での保管は仮植えより凍害やネズミによる被害が少なく、比較的簡単。やり方は、乾燥防止のために、苗木の根を湿らせた新聞紙で覆い、ビニール袋等で包む。次に苗木全体を毛布や反射資材で覆い、樹体の乾燥と冷気から守る。保管する場所は、冷蔵庫もしくは土蔵など光が入りづらく温度変化の少ない場所が望ましい。車庫などの窓がある場所は温度変化が起こりやすく、袋内部で結露と凍結を繰り返し凍害に遭う可能性が高いため、保管場所には注意が必要である。温度を０℃以上に設定し、冷風が直接当たらない場所に保管する。土蔵の場合は入口から離し、コンテナや木箱を１～２段積んだ上に苗木を置くことでネズミによる被害や下からの冷気を防ぐことができる。

定期的に袋の中を確認し、乾き気味の状態であれば随時、湿らせた紙を巻いていくことで一定の湿度を保ちながら安全に保管できる。

キリトリ

東奥日報 女子MARU JOSHI × ＪＡ相馬村

ジョシマルとは？…東奥日報の登録会員制の活動。県内外の産業や文化・歴史、農業に理解を深めながらその土地ならではの体験をするもの。

トキ収穫体験ツアー

当ＪＡは、りんご産業に親しんでもらうことで人手不足解消に役立てようと、９月21日、東奥日報主催ジョシマルツアーに全面協力！およそ５倍の当選率を勝ち取った、県南を中心とした20名の参加者らが、相馬管内の魅力を体験した。

シナノゴールド（CA貯蔵）、さんさ、つがる、トキりんご４種食べ比べ🍎

好きなりんごは？の質問で判明。みなさん『トキ推し』です！

大きいトキをみつけて収穫を楽しむ

齊藤主任からりんご収穫作業について学ぶ

田中課長補佐からりんごについて知識を深める

山内センター長による選果場案内。バーコード管理されるりんごや大型機械に感心！

特産品直売センター『林檎の森』で買い物を楽しむ

紙漉の里にて、りんご剪定枝を原料とした和紙作りを体験。世界で一つの作品に大満足！

（弘前大学を中心とした『りんご／さくら和紙研究会』協力）

ランチはロマントピアで特別メニュー『りんご御前』！　豪華な食事に舌鼓🍎

果実販売動向

販売課　田村　慎平

平素よりＪＡ相馬村フルーツステーションをご利用いただき誠にありがとうございます。

９月の果実販売動向ですが、月の中旬頃から売場での桃、スイカ、メロン等の夏果実から、柿、ブドウ、梨等の秋果実への本格的な切り替わりが見られました。

桃については前半に本県産川中島が本格化を迎え、他県産の切上りが早かったことと、気温の高さによる引き合いが強い状況が続いたため、安定した販売で高値基調での推移となりました。

スイカ、メロンに関しては終盤を迎え売場が縮小傾向となったものの、総体量の少なさから堅調な販売となりました。

月の後半からは秋果実がメインとなっていき、柿に関しては、福岡県産および和歌山県産の極早生品種が中心となり、着色遅れの影響から当初の見込みより下回る量の出荷となりましたが、末端では安定した引き合いから堅調な販売となりました。

ブドウについてはシャインマスカットを中心に売場は広く確保されており、食味も好評だったため活発な動きが続き、価格も堅調な販売となりました。

梨に関しては各産地とも前進出荷ではありましたが、凍霜害の影響などで総体量は少ない状況が続き、価格は強保合での推移となりました。特に連休に向けての時期は一時引き合いが強い時期もありました。

そのような中、リンゴに関してです。

サンつがるは、月の前半は高温が続いた影響で各県とも出荷が遅れ、入荷量の少なさと下位等級品比率の高さから売場の拡大は進みませんでした。価格は弱含みでの販売となりましたが、上位等級品は引き合いが強く、高値基調での販売となりました。月の中旬からは本県産の出荷が本格化したものの、他県産の切上りが早く、総体量が少ない状況が続いたため売場は狭く、売価も高めに設定されていることから末端での荷動きが鈍くなりました。さらに、下位等級品に関してはオセ・軟質果等の品質低下も見られたことから弱含みの販売が続きました。しかし、最終週のころには出荷が終盤を迎え、総体量が少なくなっていき、高値基調での販売となりました。

きおうに関しては、サンつがるに比べ安定した出荷となり、価格はやや下げ基調だったものの、安定した荷動きとなりました。

今後、本県産早生ふじの出荷が始まりますが、数量は例年より少ないことが予想されます。

売場では、不足感のある状況が続く見込みで、企画の組まれやすい36玉・40玉を中心に強い引き合いとなる見込みです。その為、高値基調での販売が予想されますが、本年度は夏場の高温の影響が様々なところへ及んでおり、例年になく販売が厳しい状況となっております。総体量の少なさによる高値基調にも一喜一憂せず、少しでも有利販売が出来るよう努めてまいります。

ＪＡ全農あおもりデータ（９／28 累計）

品　種	つがる	きおう	トキ	その他	合　計
単　価（円）	3,490	3,125	3,522	3,377	3,400
前年比（%）	134	117	93	115	129
販売数量（箱）	439,421	141,664	1,507	39,167	621,759
前年比（%）	66	99	7	70	72

生産情報

農業振興課主任　齊藤 大貴

●温暖な天候が影響及ぼす

りんごの果実肥大は大玉傾向で進んでいたものの、夏場の高温・干ばつの影響により平年並みくらいにまで落ち着いています。また、本年は着色よりも熟度が先行している状況が伺えるほか、高温の影響から日ヤケ果や収穫前落果が例年よりも多く見受けられます。収穫前落果が著しい場合は、当ＪＡ農業振興課において熟度調査を実施し、販売課と協議の上、入庫に係る判断を致しますので、ご相談下さるようお願い申し上げます。

中生種の収穫や晩生種の着色管理が最盛期を迎える中、農作業事故には十分注意し、安全第一でリンゴ作業に努めて下さるようお願い致します。

一方、病害虫の発生状況を振り返ってみますと、温暖な天候により、ハダニ類及びチョウ目の発生が早くから目立ちました。特に、ハダニ類については、気温が8月下旬まで高く推移したことから多発傾向となりました。しかしながら、9月上旬以降、夜温も下がり始め、ハダニ類の発生は一気に終息へ向かいました。本年は多発傾向にあったことから、果実に付着していないことを十分に確認しながら山選果を実施しましょう。また、収穫した果実はその日の内に入庫することを心掛け、鮮度維持に努めましょう。さらに、リンゴの盗難に注意が必要な時期となりました。園地での野積みは絶対に避けるようお願いします。

●野鳥被害目立つ

鳥獣保護法により、原則的に保護したり殺したりすることが禁止されています。防止対策としては忌避する方法のみとなっています。釣り糸を張り巡らす場合は、鳥の種類に合わせた間隔（カラスの場合は1ｍ以下）で張るようにしましょう。尚、ヒヨドリの場合は体が小さく、飛行能力が高いため、効果が低いとされています。さらに、音声機器や爆音機などの防鳥器具は慣れが生じやすいため、様々な器具を組み合わせながら短期間で変えることも重要です。

●積雪前の野ネズミ対策

園地が汚れていると、野ネズミの侵入が容易になり、被害を受けやすいので園地をいつも清潔にすることが大切です。生息密度低下のため、殺そ剤と忌避剤を併用した対策に努めましょう。

・忌避剤による防止

（1）アンレスの10倍液を樹幹部に塗布又は散布する。

※使用するときは、噴口のつまりを防ぐため、よく練ってから希釈をおこないましょう。また、24時間降雨等ないことを見越して使用してください。

（2）根雪前、樹幹下半径50㎝の範囲の落葉、雑草等をあらかじめ取り除いた後、フジワン粒剤を1樹当たり200g均一に散布し、表土とよく混和する。

・被害の回避

樹幹に対する野ネズミの被害は成木よりも若木に多いため、苗木及び若木は晩秋に地上1ｍ位の高さまで合成樹皮のプロテクターなどの被覆資材を巻きつけて下さい（積雪の深いところでは更に上まで）。

野鳥被害防止に！

湯口支所購買課にて取扱い販売中！

どうぶつロープ

独特の臭いで動物をシャットアウト!!
ハーブを混合させた椰子繊維のロープで、動物被害から作物を守ります。果樹の枝に吊るしたり張り巡らせて使用して下さい。

価格：7,980円（10／1現在）

日本農産〔ハーブ含浸有機資材／どうぶつロープ〕
（nihonnousan.jp）

キラリと光るアイデア工作展示

9月下旬より、当JA本所入り口に、弘前市立相馬小学校3、4年生の児童12名の『廃品を利用した工作』が飾られている。

金賞を受賞した4年生の成田幸冬（こと）さんは「パソコンで調べて作った。キレイにできて嬉しい」と笑顔で話した。

例年「あいさつ運動ポスター」を展示していたが、今年はSDGsを意識して自由な発想で取り組める工作へとテーマを変えた。10月27日まで展示予定。PTA会長の溝江友貴さんは「子ども達の発想力はすごい。ぜひみなさんに作品を見てもらいたい」と話した。

ペットボトルを利用したランプシェード（成田さん作）他にも工夫を凝らした作品がいっぱい！

地元産業に理解深める

9月19日、相馬小学校2年生が当JA販売課を訪れ、本所フルーツステーションを見学した。

児童4名は、リンゴがバーコード式フリートレイで運ばれる様子や、フォークリフトの効率的な動きを興味深く見つめ、大型のロボット機械が段ボールをコンテナに積む様子に目を輝かせていた。

販売課田村慎平さんは「農家が育てたリンゴを、新鮮な状態でお客様に食べてもらえるようにここで管理しています」と説明。「田村さんは何の果物が好きですか」の問いに「実は桃が好きです」と答え笑いが起きるなど、児童らは和やかな雰囲気の中、学びを深めた。

「ロボットがすごかった」と目を輝かせていた三浦琉生くん（左）ら児童４名

令和5年産米初検査

9月22日、令和5年産『青天の霹靂』の初検査が、JA全農あおもり職員や当JA職員ら13名が見守る中、行われた。乾燥を終えた5フレコンが水分、整粒、被害粒、未熟粒などの項目をクリアし、一等米に格付けされた。ただ本年産の米は夏場の高温の影響からあまり出来が良いとは言えず、今後は二等米に格付けする可能性もあるという。

ライスロマンクラブの新米刈取りは東部班、牡丹班とも9月9日から始まり、22日で終了した。

関係者が見守る中、初検査が行われた

ベトナム向けリンゴ収穫前検査

10月2・3日、晩生種のベトナム検疫検査が行われた。農林水産省の防疫官、JA全農あおもり、当JA職員が管内17名の組合員の登録樹のある園地をまわり、薬剤散布や病害虫について園主へ確認するなどして無事検査が終了した。

ベトナムへの主な出荷条件は、園地及び選果こん包施設の登録、園地検査、袋かけなどの園地管理である。

大場一司さんは「今年は夏の高温で大変だが、それなりに収穫できそう。しっかり管理し安心安全なものを届けたい」と話した。

防疫官と内容を共有する大場さん

いきいき女性部通信

事務局　石田 有希子

女性部では9月15日と22日、1週間違いの金曜日、相馬小学校リンゴ学習のお手伝いをしました。

例年この時期は葉取り作業のみを行い、外袋はぎは園主さんにお願いして、その後の授業で内袋はぎとシール貼りをしていました。しかし「年間を通したリンゴ作業を学ぶのであれば、外袋はぎもやってはどうか」と園主の山内さんが提案して下さり、葉とり作業と併せて外袋はぎも学習することができました。

3年生らは外袋を切り取り線に沿って剥いていき「ピリピリって剥がれておもしろーい」「たくさんできた」と数を競ったり、JAで準備した二重袋と山内さんの二重袋の内袋の色が違ったことから「赤が出るかな、青が出るかな」と、内袋の色を楽しんだりしながら作業を進めていました。

そしてその1週間後、今度は内袋はぎを行います。授業の時間はいつも3・4時間目で10時半から12時ころまで。袋はぎにはちょうどいい時間帯です。児童たちは、内袋を剥がした後、事前に絵を描いてきた透明シール3枚をしっかりリンゴに密着させて貼っていました。今年の3年生は、好きなゲームやポケモンのキャラクター、動物やお花、リンゴの絵を描いていました。「どんな風になるのかな」「赤くなるようにお日様の当たるリンゴに貼ったよ」児童らの真っすぐな話に、大人もワクワク♪　女性部の田澤真由美部長と三上まつ子さん、地域おこし協力隊の加賀さんと穂坂さんも大活躍！　前日の雨で濡れたリンゴを手際よく拭いて、しっかりとシールを貼るお手伝いをして下さいました。

最後の質問コーナーで、リンゴについていたつぶつぶは何ですか？なぜ水が垂れてくるんですか？　の問いに山内さんが「シブやサビ。実が小さいときに擦れたり、霜の影響もある。水が垂れてくるのは昨日の雨がリンゴの頭のくぼみに溜まっていたからだね」と、優しい口調で応えていました。

次はいよいよ収穫です！　リンゴ学習が終わってしまうのは寂しいですが、児童たちが自信をもってリンゴの話を出来る人になってほしいので、次も楽しく学びましょう☆

シール貼りはリンゴを落とさないよう慎重に…！

「赤だった！」外袋はぎも児童らにとってはゲームのような楽しい経験となったようだ（9/15）

3年生の好きなものがたくさん詰まったリンゴ畑になりました！

そーっと気を付けながら貼ろうとする姿に、なぜだか感動してしまいました

直売所「林檎の森」

所員　古川 華留愛

いつも林檎の森をご利用頂きありがとうございます。

10月に入り、やっと秋らしい気候になりました。農家の方々は繁忙期に入り、忙しい毎日を送っていることと思います。外で作業をされる際、夕方には肌寒くなりますので、体調管理にお気を付けください。

直売所では、たくさんの秋の味覚が並ぶようになりました。サモダシやシメジ、マイタケ等と、この時期人気のキノコや、炊き込みご飯で食べたい栗なども入荷しております。

これから、サツマイモ、食用菊、葉物野菜がでてくると思われます。カボチャもたくさん出ており、珍しい形をしたものや、ハロウィンにぴったりの大きいもの等、いろいろな品種のものがあります。

また、洋梨やほのか、弘前ふじ、トキなどのりんごを中心に、巨峰やスチューベンなどのブドウ、これから入荷予定の柿と、農家さんがたくさん果物を出してくださっています。

今年は高温障害で野菜や果物の不作があり、一般的に価格がかなり高騰しています。

しかし、生産した農家さんが直接売場に作物を並べてくれる直売所では、スーパーなどに比べ安価で販売できているものも多くあります。

秋の味覚をお求めの際は、ぜひ『林檎の森』にお立ち寄りください。

スタッフ一同お待ちしております。

秋の果物がズラリ！

人気のキノコ！　早い者勝ちです

▲清水森ナンバは終盤。冬場に食べる醤油漬けなど作ってみませんか？

◀今月末まで！　キャンペーン応募もぜひどうぞ♪

▶スタッフが季節に合わせて描いているボードにもぜひご注目ください！

湯口SS

所員　小山内 一翔

いつも当SSをご利用いただき誠にありがとうございます。組合員の皆様、平素、携行缶へのガソリンの販売記録にご協力いただきありがとうございます。

只今、抽選で300名に当たるスタッドレスタイヤキャンペーンをおこなっております。

12月31日までに、スタッドレスタイヤ4本セットをご購入されたお客様は、ぜひご応募下さい。素敵な景品を手に入れるチャンスです。

最近のスタンドエピソード

新潟からお越しのお客様のバイクが、給油後にバッテリーが上がってしまう事態に！　押しがけでバイクのエンジンをかけようと、湯口支所の駐車場内をスタッフで全力で押しながらぐるぐる周りました。無事エンジンがかかったときは「やった！」とお客様と喜びを分かち合いました。

バイクトラブルが最近多いと感じます。私たちが手伝える事であれば良いのですが、中にはやむを得ずJAFを呼ぶ場合もあります。

日々、バイクや車のメンテナンスをしっかり見直し、安全に運転をお楽しみいただきますようお願いします。

お知らせ

- **セルフ洗車 700円以上で燃料2円引きレシート！**
- **10・20・30日は灯油の日。店頭販売がお得です。**
- **都合により特売日が変更になることもあります。**

ポイントを貯めて景品をGET

☆会員の方は、ハイオク／レギュラー／軽油／灯油1ℓに付き1ポイント貯まります！

☆300ポイントためると以下の景品と交換できます

- 箱ティッシュ
- トイレットペーパー
- 林檎の森商品券

11月 イベント情報

JA SS

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 特売日	3	4
5	6	7 ポイント3倍	8	9 特売日	10 灯油の日	11
12	13	14 ポイント3倍	15	16 特売日	17	18
19	20 灯油の日	21 ポイント3倍	22	23 特売日	24	25
26	27	28 ポイント3倍	29	30 特売日 灯油の日		

青年部通信

事務局　佐々木 善久

青年部では、9月7日に部員19名が集まり、もち米の稲刈りを行いました。今年は、平年より気温が高く推移したことから、昨年に比べて1週間ほど早まりました。当日は、雨が予想されており、作業が中止になる恐れがあったものの天候に恵まれ、青空の下で無事に今年の稲刈りを終えることができました。「わんどの日ごろの行いだな」と笑い話が生まれる場面も。収量は昨年より多く、部員らも今年の出来に満足げに会話する姿が見られました。

雨の予報から一転、刈取り日より！

オペレーター引継ぎ

今年からはコンバインのオペレーターを務めていた福島秀幸さん（藤沢）に変わり、溝江将也さん（湯口）に引き継がれました。始めは、福島さんがお手本を見せた後、オペレーターを溝江さんへ交代し、アドバイスを受けながら稲刈りを進めて行きました。刈取り作業を終えた溝江さんは「来年の稲刈りは、今年以上にスムーズに進められるように頑張っていきたい」と意気込みを語っていました。さらに、コンバインの刈取り作業を見守っていた先輩部員からは「これから頼むや」と激励する場面や今年のりんごについて「ヤケはどうだったか」等を情報交換する姿もありました。

作業終了後には欠かせないのが、反省会。なんといっても、青年部部員の一番のコミュニケーションの場となります。事業に関する話題から農業に関する話題まで多くの話題が飛び交います。腹を割って話すため、より一層団結力が深まる〝ノミュニケーション〟となりました。

刈取りの進め方をアドバイス。

近日発売！

令和５年産青年部もち米の収穫を終え、乾燥作業に入りました。購入していただいている皆様、販売まで楽しみにお待ちください。青年部一丸となり真心込めて作った「もち米」ぜひご賞味ください。

地域おこし協力隊 活動記 Vol.92

協力隊の穂坂修基です。

九月十四日、相馬有志会の一員として、お山参詣に参加してきました。お山参詣は旧暦八月一日におこなわれ、私の誕生日は新暦八月一日。何か特別な縁を感じての参加になりました。

幟（のぼり）を持つ役割でした。幟の色には意味があり、白は清浄潔白を、五色は古代中国の五行説に基づき、森羅万象の木・火・土・金・水を象徴しています。

二日間の練習期間でしたが、ケガなく無事に持つことができました。慣れている人は、ほうきを手のひらにのせるようなバランス感覚で持つそうです。私は力で押さえつけたので腕が筋肉痛になりました。また来年リベンジしたいです。

お山参詣の相馬有志会に限らず、多くの団体が参加者・後継者不足に悩まされていると思います。それに加えて、感染症拡大の影響で、今まで来た人が離れていった団体も少なくないと思います。団体の規模を維持していくためには、年齢、性別、職業、町会の壁を低くし、一見さんでも気軽に参加できるような工夫やＰＲをしていく必要があると思います。また、小・中学校と連携し、児童・生徒がじかに体験できる機会を意図的に作り、未来の参加者・後継者候補をつくるべきです。

（左）五色の幟、（右）白い幟

相馬庁舎でも披露。敏彦さんに支えられ、両手をはなせました

相馬有志会では、会長の中澤圭一さんの意向もあり、次年度のお山参詣では学校と連携する方針でいます。私は、教員経験を生かして、双方にメリットがあり、かつ、負担感の少ない連携方法を模索し、協同していこうと思います。

九月五日から「りんご大学」というサイトで、りんごに関するコラムを書くことになりました。恥ずかしながら、多様な品種の味や風味、食感をレビューするソムリエじみたことを載せています。

構想の段階ですが、美味しさの言語化をサポートする「りんご評価用語集」を作成したいと考えています。というのも、りんごの美味しさを表現する言葉が、甘い、酸っぱい、シャキシャキ、ジューシーくらいです。

コーヒーには評価用語集があります。上質なコーヒーのテイスティングの評価基準に使われ、産地や焙煎具合による味、香り、口あたりの違いを具体的に表現できます。例えば、「鮮やかな酸味」、「ソフトな酸味」、「薄い酸味」など、どういう酸味なのかをより正しく表現することが可能になっています。

りんごの場合も、キュートやトキの香りを「独特な香り」と一括りにせず、個別的に言語化できないか。どう甘いのか、どう酸っぱいのか、どうシャキシャキなのか、より具体的で、食べたことない人がイメージしやすくなるような言葉があるといいと思います。

（＊）相馬地区公式HP（http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/）

農協役員室で——ネズミ盗聴記

元県農協学園長
秋田 義信

農協の役員室。オンベと放送局とホライチが来ている。ホライチが盛んに孫の自慢話をしている。

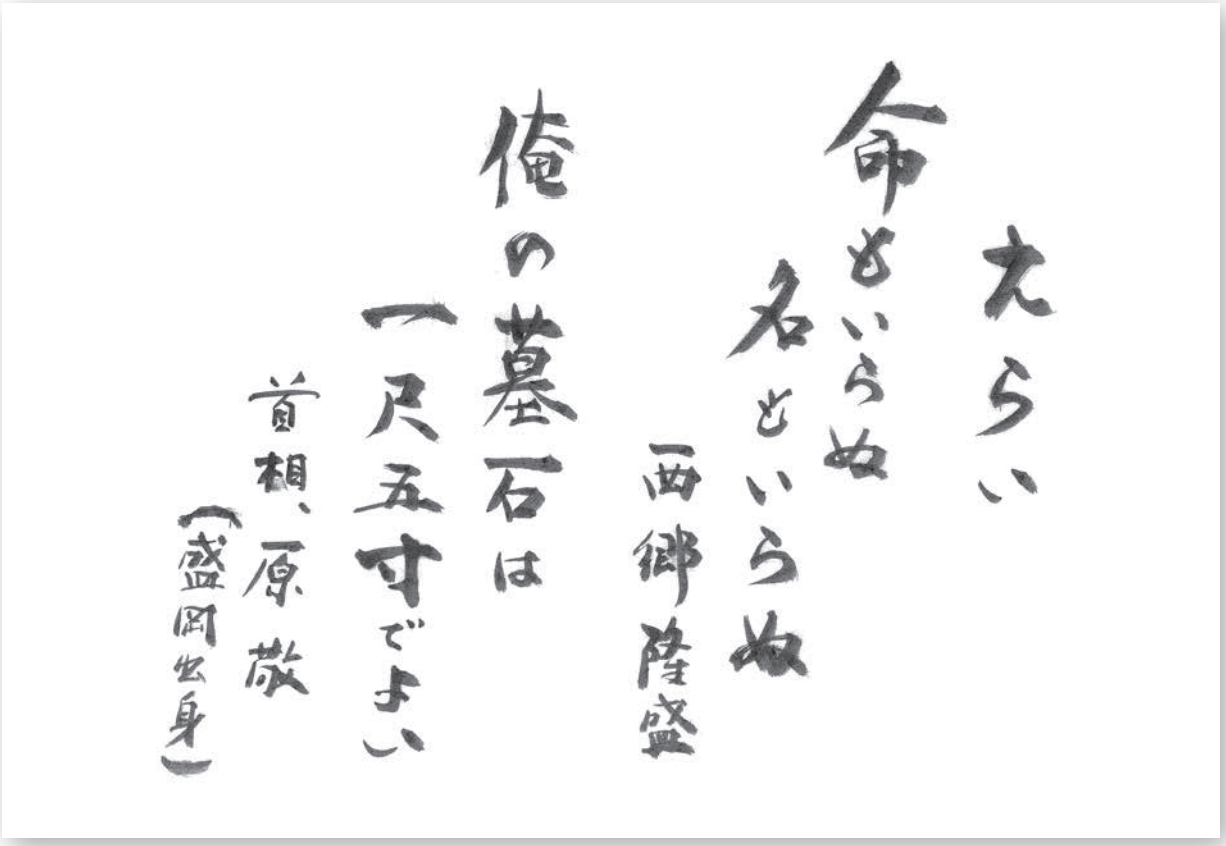
放送局「つがる市の或る家で、ヂサマが亡くなって、農協の生命共済のカネで大きな墓石を建てたら、本家のダンナが怒ったそうだ。「本家の墓石よりも大きいとは何事だ！」と。

オンベ「岩手県出身で、大正時代に首相をつとめた原敬（ハラ・タカシ）が「俺が死んだら、墓石は一尺五寸でよい」と言ったそうだ。盛岡のその墓石は本当に一尺五寸ぐらいだ。吾（ワ）見に行ったんだ。」

放送局「県りんご協会を設立した渋川伝次郎様の墓が黒石市の感随寺の境内にあるけれども一尺五寸ぐらいの小さなものだなー」

オンベ「西郷隆盛もえらいなー。『命もいらぬ、名もいらぬ、子孫のために田畑を買わず…』と言っている」

西郷と大久保利通の違い——二人は生家が近所。幼いときの友人。しかし、後に生き方が違った。大久保は政治権力を欲しがった。西郷は明治政府から遠ざかり、最期は郷里の鹿児島で、大久保の官軍に撃たれて死んだ。敵弾から逃れようとしなかったという。（鹿児島に、西郷の銅像はあるが大久保のものは何もないそうだ）



JA 相馬村概況

〈令和５年９月末日現在〉

組合員数…… 860 人
（うち准組合員数 …… 388 人）
出　資　金……604,235 千円
貯　金　額…… 10,079,705 千円
共済保有高……3,008,547 万円

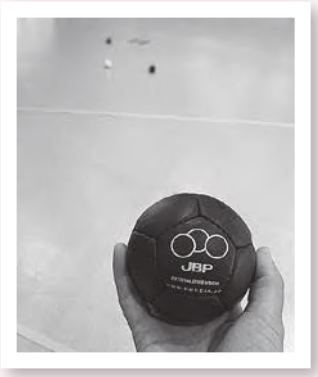
理事会だより

9月20日（水）

1）８月末残高試算表について
2）組合員の脱退について
3）当組合における取引のリスク評価書の改定について
4）役員賠償責任保険契約の締結について
5）ローン融資要項およびローン商品概要説明書の一部改正について
6）貸付関係について
7）りんご販売関係について

編集部のつぶやき～編集後記～

先日、相馬地区青少年育成委員会主催『ボッチャ大会』の練習会に娘たちと参加しました。ボッチャは、2チームが赤と青のボールを投げ合って、白い的球にどれだけ多く近づけられるかを競う競技です。カーリングと似ていますが、的球にボールをぶつけて移動させれば一発逆転も狙えます。球をどんな強さでどこを狙って投げるのか。戦略を考えられるところがとても面白く、大人から子供まで、また障がいのありなしに関わらず楽しめるスポーツでした。『津軽っこボッチャ大会』は11月19日が本番。昨年の世界大会はブラジルのリオで開催されて、日本が銅メダルをとったとか。今回の津軽っこボッチャ大会に出場した児童が将来世界大会に行く可能性も…？　みなさんもぜひ、機会があればボッチャにチャレンジしてみて下さい。絶対に楽しいですよ◎　yuki



持つとズシッと重みのあるボールは、投げ方によって転がったり転がらなかったり

今月のあなたの運勢・11月　《モナ・カサンドラ》

◆全体運　●健康運　★幸運の食べ物

牡羊座　3/21～4/19
◆秋の実りを楽しみましょう。思い出の料理を食べに行くのもお勧め。旧友との会話にも花が咲きそうです
●冷えは大敵。体を温めて。厚手の靴下が吉
★ダイコン

牡牛座　4/20～5/20
◆対人運が活発化。もめることもありそうですが、向き合ってみると分かり合えることも。ポジティブに考えて
●ちょっとしたけがに注意。ばんそうこうを携帯して
★ハクサイ

双子座　5/21～6/21
◆ストレスを感じやすいとき。オーバーワークにならないよう予定を見直して。レジャー運は良好。お出かけを
●腸内環境を整えて。発酵食品にツキ
★ゴボウ

蟹座　6/22～7/22
◆気になっていたことがいい方向へと動く好調運。問題は1人で抱え込まず相談を。力になってくれる人がいます
●コンディションが良好。スポーツを楽しんで
★ホウレンソウ

獅子座　7/23～8/22
◆大丈夫と思っていたことにストップがかかりそう。いち早く兆候を見つけられるようよく観察を。方向転換は吉
●無理や我慢は禁物。不調を感じる前に休んで
★ネギ

乙女座　8/23～9/22
◆コミュニケーション運が活発化。好情報を入手できます。ただ、後半は眉唾な話も。うわさには気を付けて
●良い健康法が見つかりそう。友達のまねも◎
★根ミツバ

天秤座　9/23～10/23
◆人気運が良好。あなたの周りに自然と人が集まってきます。食事の時間に愚痴は控えて。楽しく食べて円満に
●喉の痛みを甘く見ないで。しっかりケアを
★カリフラワー

蠍座　10/24～11/22
◆リーダーシップを発揮して。少しせっかちになりがちなとき。周りの話を聞き歩調を合わせればスムーズに進みます
●歯科検診へ。口内炎や歯痛は早めにケアを
★ナス

射手座　11/23～12/21
◆よく分からないことで意見を言うのは控えて。いつの間にか悪者にされる恐れが。運勢は下旬から上昇します
●食生活の乱れが肌に出がち。バランス良く食べて
★シュンギク

山羊座　12/22～1/19
◆友人や知人とおしゃべりを楽しめます。好奇心を発揮すれば面白いことに出合えるはず。お試しプランにツキ
●肩凝り予防のストレッチを。運動にツキ
★ユリ根

水瓶座　1/20～2/18
◆周囲からの注目度がアップ。良いことも悪いことも目立つので自分を律して。人に配慮すると状況は好転へ
●関節痛や貧血の予防に力を入れて。お茶が吉
★リンゴ

魚座　2/19～3/20
◆努力の結果が出てやりがいを感じられそう。1人では難しいことも仲間と協力して大成功。宴席や旅行も幸運の兆し
●シェイプアップや筋力トレーニングにツキ
★ジャガイモ

ソトから目線の相馬の魅力　ソトのウチ

白井 智絵里 さん

1. 有袋ふじの葉とりを行う白井さん

2～5. 畑の必需品。Bluetooth、マキタのラジオ、何かと使えるロープ、バヤ切り鋏。

6. 異変があれば吠えて教えてくれるまろんちゃん。落ち実の袋はぎもお手の物！　優秀なパートナーだ。

「つがるをもいでるときは地獄かと思った」

就農4年目。白井さんは藍内地区でリンゴ畑を持ち、平日は1人、土日は家族や友人らと作業している。今年のつがるは夏の高温により色がのらない上に、生食用リンゴは鳥獣被害にあった。しかし終わってみれば、ある程度箱数がまとまってよかったと安堵した。

住んでいるのは弘前市街地だが、祖父（故　三上輝男さん）の家が藍内で、リンゴとキノコの栽培をしており、幼少期はよく遊びに行ったそう。自身が会社員として働いていた時、畑を処分するかどうかの話が持ち上がり「もったいない！せっかくの畑だからやってみる」と即断し農家になった。

最近母からこう言われた「祖父が生前『いいリンゴを作りたい』と言っていた。今度はあなたの番」。〝いいリンゴ〟とは何か。白井さんは「自分の作ったリンゴを、昨年は特に喜んでもらえてすごく嬉しかった。その時に〝いいリンゴ〟って、食べてほしい人に『おいしい』と言ってもらえることなのかな、と思った」。有袋ふじを作るのが好きだと言う。「真っ白なリンゴが段々ピンクになるのがかわいい」。

大切な人たちを笑顔にする〝いいリンゴ〟を、これからも作り続けてほしい。

JA相馬村広報　りんごの森
2023.10　Vol.495

■発行者　相馬村農業協同組合
〒036-1593　青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215　FAX.0172-84-3497

■編　集　総務課広報
ホームページURL　http://www.ja-souma.or.jp/
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日　2023年10月15日

本所	0172−84−3215㈹
本所フルーツステーション	0172−84−3293㈹
本所フルーツステーション特産販売	0172−84−3218㈹
ＪＡ共済事故受付センター	0120−258931
湯口支所・機械化センター	0172−84−2470㈹
湯口セルフスタンド	0172−84−2550㈹
直売所「林檎の森」	0172−84−3411㈹
津軽ＬＰガス保安センター	0172−36−0404㈹
ライスセンター	0172−84−2217㈹
りんご加工センターＡ棟	0172−84−3380㈹
相馬支所・フルーツステーション	0172−84−2534㈹
ＪＡ津軽葬祭センター	0120−7676−60